

社協の介護講座 第2回

認知症の知識とその対応について ②



主婦の友 新きほんBOOKS はじめての介護 主婦の友社 定価 1,200円 (税込み1,260円)

症状のあらわれ方と進み方

だれにでも起こる症状とそうでない症状が

だれにでも共通してあらわれるのは、脳の神経細胞が壊れることによって起こる症状で、記憶障害、判断力の障害、問題解決能力の障害、実行機能の障害、失行・失認・失語といったものです。これは中核症状と呼ばれています。

不安や混乱を除けば 周辺症状は緩和できる

人によってさまざまです。不安や混乱を除けば、周辺症状は緩和できる家族にとって、つらく、大きな負担になるのが周辺症状です。たとえば、記憶障害のために、財布を置いた場所を忘れてしまえば、「盗まれたのではないか」という妄想も生まれてきます。つまり、周辺症状は記憶力がなくなり、判断力が低下するなどの中核症状を背景にして起こるのです。認知症になった人が人格を失うからでは、けつしてないのです。周囲が混乱と不安をとり除いてやること。そして、思いやりをもって接することで症状は緩和できることを忘れないでください。

認知症の中核症状と周辺症状

周辺症状は、病気の進行よりも環境が大きなウエイトを占めます。周辺症状を抑えることができれば、よいケアが実現できて、認知症患者がその人らしい生活を送ることができます。

Table with 5 columns: せん妄, 幻覚, 妄想, 睡眠障害, 多弁, 不安, 焦燥, 抑うつ, 心気, 暴言・暴力, 徘徊, 不潔行為, 多動, 依存, 異食, 過食, 介護への抵抗. Includes a central section for '中核症状' with descriptions for memory, judgment, and problem-solving impairments.

こんなときには、どうしたら…

家族をほかの人とまちがえる

いっしょに暮らしている家族を、自分の姉や弟とまちがえたりします。

家族がしてしまいがちな対応

「違うでしょう。私は△△よ」「しっかりしてよ。どうして私のこと、わからないの」「何度言ったら、わかってくれるの」

認知症の人の気持ち

「よく知っている人だけ、だれなのだろう」「○○だと思っていたけど、○○じゃないのだろうか」

理由

人物誤認は、認知症の人の3人に1人くらいに起こることだといわれます。記憶障害が進んで、混乱しているのです。昔に戻って、昔の家族関係にいるのだと思いつく場合もあります。

どうしたらいい？ ↓

否定しないで話を聞く

「○○じゃない」と否定すると、混乱がひどくなって途方に暮れるでしょう。まちがいを正さないことが大事です。その人になりきって、話を聞いてあげましょう。しばらくすると、記憶が戻ってくることもありますし、お茶をいれに行ったり、トイレに立ったりすると誤認が消えることも多いようです。

アドバイス

認知症の人は、遠くの娘や息子が訪ねてきても「どなたさんでしたっけ？」と、相手がだれかわからないことがあります。とはいえ、相手が自分がよく知っている人だということはわかっているものです。私たちも、たとえば私服姿の行きつけの店の店員さんと、思いがけない場所で会って、だれだったか思い出せないのと同じようなものではないでしょうか。

監修：国立長寿医療センター包括診療部長 遠藤 英俊

認知症ドットコム 検索

「食事をしていない」と言って食べたがる

食後しばらくすると、「昼ごはんを食べていない」「なんでごはんを食べてくれないの?」と言います。

家族がしてしまいがちな対応

「さっき食べたばかりじゃない」「食事をしたの忘れたの?」と言い聞かせる。あるいは、「ちゃんと食べさせているでしょう。人聞きの悪いこと、言わないでよ」と怒る。

認知症の人の気持ち

「食べた覚えがないのに、なんで怒るんだろう」「おなかやすいているのに食事をさせてくれないなんて、ひどいじゃないか」

理由

記憶障害が進んで、食事をしたことを覚えていないのです。軽度から中度のときに、よく起こります。

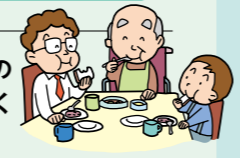
どうしたらいい？ ↓

台所に立つだけでも効果がある

何度もきつく言い聞かせたり、しかると被害妄想をいだきがちです。「用意するから、ちょっと待っていてね」とやさしく言って、台所に行くだけで気持ちがおさまることもあります。おなかやすいたという場合は、お茶をいれて果物など軽いものを添えます。エネルギー量が多いものだと食べ過ぎになって、食事が不規則になる原因になるので注意してください。また、寂しさを感じるので「おなかやすいた」「食事を食べていない」と言うことも、話し相手になってあげる時間を増やしましょう。

アドバイス

一人の食事は忘れやすいものです。できるだけ、家族と楽しく食事をするようにしましょう。



「新きほんBOOKS はじめての介護」(主婦の友社)より引用